

III 臨床編

III-12 移植

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
ABO血液型不適合	えーびーおーけつえきがたふてきごう	ABO-incompatible			移植医療において、ABO血液型が不適合の場合。
ABO血液型不適合移植	えーびーおーけつえきがたふてきごういしよく	ABO-incompatible transplantation			ABO血液型が不適合の移植。患者が移植臓器の血液型に対する抗体を保有している場合は、血漿交換法などにより抗血液型抗体価を下げる。
液性免疫	えきせいめんえき	humoral immunity			B細胞が主体となって、抗体を作ることで異物に対抗する免疫反応。
急性移植片対宿主病 (GVHD)	きゅうせいいいしよくへんたいしゆくしゅびょう	acute graft versus host disease			移植後おおよそ100日以内に同種臓器移植時にドナー臓器が引きおこす、免疫応答によってレシピエントの臓器を攻撃する合併症。
抗体依存性細胞障害作用	こうたいいぞんせいさいぼうしょうがいきょう	antibody-dependent cellular cytotoxicity	ADCC		活性細胞や病原体に抗体が結合すると、その抗体がマクロファージやナチュラルキラー細胞を呼び寄せ、その抗体が結合している細胞や病原体を殺傷する作用。
細胞性免疫	さいぼうせいめんえき	cell-mediated immunity	CMI		局所的に起こる免疫反応で、抗体が関与せず、細胞障害性T細胞やマクロファージが直接細胞を攻撃する免疫反応。
細胞性拒絶反応	さいぼうきよぜつはんのう	cellular rejection			リンパ球などの免疫担当細胞が原因の急性拒絶反応。
サイモグロブリン	さいもぐるぶりん	anti-thymocyte globulin	ATG		抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(サイモグロブリン : rATG)はヒト胸腺細胞をウサギに免疫することにより得られたポリクローナル抗体。IgGを主成分とする免疫抑制薬。移植後急性拒絶反応の治療に用いられる。
促進急性拒絶反応	そくしんきゅうせいきよぜつはんのう	accelerated rejection			細胞性免疫とおそらくは既存抗体の双方の関与で移植後1週間以内に発生する。
脱感作療法	だつかんさりょうほう	desensitization therapy			移植前に行われる免疫抑制療法。血液型不適合に関連する拒絶反応を抑制する目的。
ドナー特異的同種抗体	どなーとくいてきどうしゅこうたい	donor specific alloantibody	DSA		移植・輸血・妊娠により、非自己のHLA抗原に感作された場合、抗HLA抗体を産生する。臓器移植・造血幹細胞移植前にレシピエントの血清中に抗HLA抗体がある場合、移植後急性拒絶を起こす可能性がある。
ドナーアフェレシス	どなーあふえれしす	donor apheresis			血小板や血漿の成分採血、同種(ドナー)からの末梢血幹細胞採取(移植)などのこと。
慢性移植片対宿主病 (GVHD)	まんせいいいしよくへんたいしゆくしゅびょう	chronic graft versus host disease			移植後3か月頃から2年までに発症するGVHD。3か月以内や2年以降に発症することもある。GVHDは同種臓器移植時にドナー臓器が引きおこす免疫応答によってレシピエントの臓器を攻撃する合併症。
液性拒絶反応	えきせいきよぜつはんのう	humoral allograft rejection			急性拒絶反応の中でも抗体や補体が主体で免疫反応を惹起する拒絶反応。
急性拒絶反応	きゅうせいきよぜつはんのう	acute rejection			細胞性免疫により移植後1週間から3か月の間に好発する。
抗HLA抗体	こうえいちえるえーこうたい	anti-human leukocyte antigen antibody			ドナー表面抗原に対する特異的抗体のうち、MHCクラスI、IIに対する抗体(抗HLA-DSA)。移植・輸血・妊娠等の感作によってもたらされる。
抗ドナー抗体	こうどなーこうたい	anti-donor antibody			ドナー表面抗原に対する特異的抗体。主なものに血液型抗原に対する抗体(抗A、抗B)とMHCクラスI、IIに対する抗体(抗HLA-DSA)がある。
抗リンパ球グロブリン	こうりんぱきゅうぐろぶりん	anti-lymphocyte globulin	ALG		拒絶反応の予防に用いる血清からの精製グロブリン。近年は抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(商品名サイモグロブリン)抗体と称されることが多い。
抗血液型抗体	こうけつえきがたこうたい	anti-blood type antibody			ドナー表面抗原に対する特異的抗体のうち、血液型抗原に対する抗体(抗A、抗B)、生理的に産生されている。
抗体関連型拒絶反応	こうたいかんれんがたきよぜつはんのう	antibody mediated rejection	AMR		液性拒絶反応と同義。
主要組織適合遺伝子複合体	しゅしょうそしきてきごういでんしふくごうたい	major histocompatibility complex	MHC		細胞内で処理した抗原を乗せ、免疫担当細胞に対して抗原提示を行うための分子。クラスIはすべての細胞に発現する。クラスIIは貪食細胞のみに発現し、抗原提示による獲得免疫誘導にかかわる。ヒトではHLA(human leukocyte antigen)とよばれる。
超急性拒絶反応	ちょうきゅうせいきよぜつ	hyperacute rejection	HAR		既存抗体の関与で移植後直ちに発生し24時間以内に拒絶される反応。
補体依存性細胞障害	ほたいいぞんせいさいぼうしょうがいがい	complement dependent cellular cytotoxicity	CDC		細胞や病原体に抗体が結合すると補体系が活性化され、細胞が破壊される活性。血液型不適合移植などで起きる拒絶反応の一因。
慢性拒絶反応	まんせいきよぜつはんのう	chronic rejection			移植後産生される液性抗体の関与により移植後3か月以降に徐々に発生する拒絶反応。
免疫(学的)寛容	めんえき(がくてき)かんよう	immunological tolerance			抗原により導入される特異的な無反応状態。免疫原性がある抗原に対してB細胞応答(抗体産生)、T細胞応答(サイトカイン産生、キラーT細胞応答)を起さない状態を指す。